

名家連ニュース

平成 23 年 9 月 22 日 (木)
発行：特定非営利活動法人
名古屋市精神障害者家族会連合会
会長 堀場 洋二
TEL/FAX (052) 411-2890 NO. 168 号

100万人署名 — 今後、私たちに出来ること — 代表者会議で率直に意見交換

9月17日(土)

100万人署名の経過と現状

この署名には、家族と当事者の現在と未来が託されています。私たちは、「こころの健康推進を国の基本政策に」という提言書の実現を願い、お互いに学び、励まし合い、家族会組織を挙げて署名運動に取り組んできました。

その結果、昨年秋以降、毎月平均 2,000 筆に及び署名用紙が各家族会から寄せられ、現在までに 13,502 筆の署名が集まってきました。

愛知県下の家族会も結束して署名運動に取り組み、愛知全体で 4 万筆を越え、全国集計も 40 万筆となりました。100 万人請願署名は、来年 5 月の通常国会に提出されます。

「署名は終わったのでは…」 「これ以上は無理では…」

家族の率直な気持ちを分かり合いました

「精神疾患対策基本法制定」の成否は、今後、半年間の私たちの運動如何に罹っています。100 万人署名に相応しい運動が求められています。しかし、家族会や家族の皆さんには「これ以上の署名を家族に頼むのは無理かも…」 「私たちのできる署名はほぼやり尽くしてしまった…」 という率直な意見や戸惑いがありました。事実、7 月以降は家族会からの署名が集まらなくなっていました。家族による署名集めは、限界にきていることをお互いに実感し合いました。11 月 6 日の全国街宣行動も、その日だけの取り組みに終わり、その先は見えてきませんでした。



もう一度 振り返って 考えてみることにしました

運動が行き詰ると、弱気になります。そんな時、もう一度、提言書に立ち返り、そしてお互いの生活を振り返りって考えることにしました。「数々の苦難に耐えてきた日々の暮らし」「今のままでは大切な家族の先行きが案じられること」「全国運動のチャンスは何度も訪れないこと」を見つめ合い、私たちにできることは何かを探り合いました。



友人、知人などに手紙を添えて 署名を助けてもらおう！

秋は行事も多く 沢山のチャンスがある

遠くにいる友人や同窓生などに手紙で助けを求めることなど、私たちにできる方策を考えることにしました。100 組の「切手を貼った返信封筒、署名用紙、パンフ、郵送用の A4 角封筒」を家族会代表者の皆さんに持ち帰って頂き、例会等で呼びかけて頂くことになりました。

また、秋は行事も多く、昨年の体験を活かして署名を集めることや他団体の署名運動と相互協力することも話し合いました。



**仲間の皆さん！ 大切な家族のためにも
署名をして頂いた方々のためにも 悔いのない運動を進めていきましょう！**